

“CO-OP” と「商品」の現在地

巻頭言

理念が問われる PB 戦略……戸田 裕美子 1

争論 暮らしに寄り添うのか？ 暮らし方を示すのか？……2

01 社会に問いを投げかける「無印良品」というあり方……萩原 富三郎 3

02 「生命に寄り添う」ために必要なことは何か～商品でなく、「食べもの」として……行岡 良治 11

特集 “CO-OP” と「商品」の現在地……19

01 コープ商品の特徴と社会的意味を考える

～コープの洗たく用洗剤／セフターを事例に……石井 陽子 20

02 生産者からみた“CO・OP”の特長と意義～さとの雪食品株式会社を事例に……宮崎 崇将 28

03 こうち生協の地域密着型商品政策とその意義……福田 善乙 35

暮らしと協同をたずねて

企業はどこまで人間になれるのだろうか……斎藤 駿 43

書評

01 『マーケティングの嘘～団塊シニアと子育てママの真実』 辻中俊樹・櫻井光行 共著……増谷 博昭 50

02 『商店街はいま必要なのか～「日本型流通」の近現代史』 満菌 勇 著……庄司 俊作 52

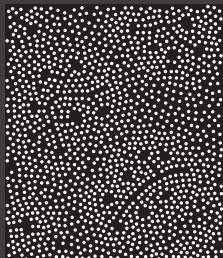
投稿規定…… 54

バックナンバー／編集後記…… 55

【訂正】

『暮らしと協同』（2015年夏号）P10 左段下から10行目、日立造船「生協」が…を日立造船「の当時の労組員」が…に訂正します。

小紋
撰
趣



表紙紋様「山葡萄の紋様」

山葡萄は、普段目になっている現在の西洋の葡萄とは異なり、日本列島の野山に自生する野生の葡萄のことを指します。山奥で人知れず花を咲かせ、多くの果実をつけることから、多産の象徴、安産と子孫繁栄の象徴として喜ばれていたようです。雌木と雄木があるので栽培は難しいですが、果実は古来より薬として珍重されてきました。生協では組合員の方々の意見を反映させた、生協ブランド商品の開発が行われています。そこから生まれた商品が、山葡萄の様に、薬として生活の糧として社会に貢献し、今後も数多くの商品が生み出されていきますように。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）